魂を揺さぶる 羅 清水の歌声を！

12月2日(火)源氏物語フェスティバル

十二月二日(火)の夜六時から、生田神社会館四階ホールにおいて〝源氏物語フェスティバル〟の「華と薫りと歌曲と」が開かれる。

ゲスト歌手に、来日五十五周年を迎えた羅清水(らせいすい)さん(一九三七年台湾の基隆生まれ)が出演し、中国と台湾の民謡を歌う。

「日本文学の最高峰ともいえる紫式部の〝源氏物語千年紀フェスティバル〟に、小泉さんから日中文化交流の宴なんだとお誘いを受け、喜んで出演させていただき、歌うことに誇りを感じています」と語る羅さんは、神戸中華同文学校の出身。中学三年の文化祭で「この道」と「赤とんぼ」そしてオペラ「北風吹いて」白毛女の父の役を独唱。

そのときに伴奏を担当したピアニストは、いま神戸国際音楽協会の理事長の張文乃さん！「山本通の張さんのお宅へ、何回かレッスンに伺って、お母さまがとても品の良い日本女性で、子どもの同級生の私に〝いらっしゃいませ〟と玄関で正座してあいさつをしてくださり、びっくりしました」。その母上の優しい応接に心が癒されて、いっそう音楽へのあこがれがかき立てられたそうだ。

昭和三十三年に、武蔵野音楽大学に入学、声楽科を出た若者は、オペラ歌手を夢見て、一九六四年、日本(NHK、毎日新聞)音楽コンクールのステージに立つ…しかし、初歩的な失敗を。無念の涙を流し、若者はプロの道を断念する。

当時、熊本で台湾バナナの輸入商だった父の店で働き始めた。

ところが、オペラ「トスカ」の熊本公演に来ていた、当時の日本でもっとも有名なバリトン歌手・立川澄人さんに偶然出会い、「羅君、バナナを売っている場合ではない」と言われ、「君の声は天から授かったもの、歌うことこそ天命だ」の一言に再びレッスン始めた。

神戸へ戻り、一九七六年、兵庫県民小劇場で、失意のコンクールから十二年めにリサイタルを開き、新たな羅清水の道が開かれた。六十六歳で「Ｖｏｃｅ／平和への祈り」のCDを完成。中国と日本の歌曲、イタリアのカンツォーネ、オペラのアリアなどが収録されている。

今回、羅さんは「日本と中国の平和の架け橋に、私の歌を持って交流することが本来の役割です」と語り、音楽への夢と愛と、情熱の花を咲かせる。来年四月七日、台湾の台北国家音楽堂大ホールで演奏会が予定されている。

羅 清水(らせいすい)

神戸中華同文学校、武蔵野音楽大学声楽科卒業。柴田睦陸、松山憲善、ロドルフ・リッチ、渡辺高之助の各氏に師事。日本、台湾、中国各地で多彩な演奏活動を展開。二期会会員、日本音楽協会会員。

神戸はシャンパーニュの味がする街

インタビュー／イヴ・アンリさん（ピアニスト）

パリ国立音楽院教授、ノアン・ショパン102501 O-ta-フェスティバル芸術監督のYves Henry（イヴ・アンリ）先生が東京・神戸で公開レッスンとピアノリサイタルを開いた。

リサイタルは9月6日東京芸術センター、9月14日神戸芸術センターで行われ、プログラムはピアノファン待望のものであった。主催はユーロピアノ株式会社ベヒシュタイン・プレイエル等ヨーロッパ高級ピアノの日本総代理店、後援はフランス・プレイエルピアノ社。9月13日神戸芸術センターでのピアノレッスンの後、ナイーブなイヴ・アンリ先生をインタビュー。

―ショパンとリストの演奏がとてもすてきでした。

イヴ　神戸芸術センターショパンホール、東京芸術センターのピアノラウンジはピアノに向いたホールなので、とても弾きやすかったです。私は、ショパンやリスト、シューベルト、ラベル、ドビュッシーといったロマン派や印象派の作品が好きなので、もっとピアノを中心とした他の楽器とのデュエット、トリオの室内楽、歌曲等もやりたいですね。私は一曲一曲すべてを、心に絵を描いて弾いています。作曲家の心を、和声楽曲分析し、繊細なイマジネーション（創造力）とテクニックの3つの手段で演奏をしています。

―聴く方もイメージが湧きます。

イヴ　音楽家は、耳を開いてすべての音楽を聴くことが大切ですが、さらに文学や美術、例えばフランス文学のヴィクトル・ユーゴーやボードレールの悪の華、バルザック等を読み、印象派のモネやルノアールそしてドラクロワやアングルの美術等にも親しんでほしいですね。

―神戸のまちの印象は？

イヴ　伝統と近代的なものの融合している街、シャンパーニュの味がする街だと思います。

―特にこの神戸芸術センターはいかがですか？

イヴ　とても美しい！小さいホール（ショパンホール）なども、大ホールもデザインが良いですよ。それに新神戸駅が近いことと、ホテルが隣接している立地条件がいいので東京、京都、大阪からも人がきやすい。それに敬意を持って優しくサービスしてくれるのもね。神戸ビーフも最高！寿司も美味しかったです。

―若いピアニストへのメッセージを。

イヴ　すべてを音楽に！人間の愛増、ノスタルジーや悲しみ、心の痛みを感じることね。先生も若い学生も聴講生もみな勉強熱心で、どうやって表現しようかと、挑戦していると思う。これで来日は4回目。去年11月、今年の4月、6月とこの9月と、日本人の心がフランス音楽〝マイ・ミュージック〟を聴きたい人が待ってくれていることが、自分にとって一番嬉しいです。

毛髪の悩みを内面からケア

ヘアクリニックサロン阿曽

Hair Clinic Salon ASO

年齢を重ねるごとに増えてくる、抜け毛や、毛が細くなりコシがなくなってきた…といった悩みをお持ちの方も多いのでは。そんな、男女を問わないお悩みに、ヘアクリニックサロン・阿曽では、こころや内面のメンタルケアによるアドバイスをおこなっている。これらの悩みは年齢のせいだけではなく、自律神経系からくる円形脱毛症や、免疫力の低下によるものなど多数の原因が考えられるのだとか。歳のせいだとあきらめてしまわずに、ご相談してみては。

総務大臣所管の「メンタルバランス研究所」の認定を受けた「メンタルバランスカウンセラー」の資格をもつ、阿曽吉生さん、恵子さんご夫妻は、髪にふりかけたり頭に刺激を与えるなど、それまで外からのケアばかりだったヘアケアに関して疑問を抱き、内面からのケアに注目。「年齢とともに低下してしまう自然治癒力や、免疫力を高め、人間が本来もっている力を取り戻すことによって、育毛にもつながるのです」と阿曽さん。アミノ酸を中心にしたサプリメントなどを提案している。また、ストレスは、抜け毛などの原因となることも多いため、アウトバーン社の、話題の「ストレス測定器」を利用して、お客さまの状態を分析しつつ、ヘアケアのカウンセリングをおこなっている。神戸ポートピアホテル2階で営業しているので、お気軽に訪ねてみてほしい。

■(株)ヘアクリニックサロン阿曽
神戸ポートピアホテル バレビアンカ2階
☎078・231・0255
☎080・2401・1955(直通電話)
予約受付時間　午前10時～午後5時

Event

源氏物語フェスティバル
日中文化交流の宴「花と薫りと歌曲と」
12月2日(火) 生田神社会館4F大ホール

羅 清水(テノール)

2008年は紫式部が『源氏物語』を創作してから千年を数える年。それを記念して、源氏に関する文化交流の宴を開催。

ゲストにテノール歌手の羅清水を迎え、花は西村公延、(株)フットテクノによる「源氏香」をたきしめて開催。京都橘女子大学・鈴木紀子教授による『源氏物語』に関する講話、そして琴(茨木春重・春寛)と、尺八(石川利光)、唄(小泉美喜子)の演奏会などもおこなわれる。

17:00受付　18:00開演
生田神社会館(阪急「三宮」駅西口より約5分)
一般10,000円(お食事つき)　※当日券はありませんので必ずご予約ください
■問／神戸っ子出版 ☎078-265-0155

鈴木 紀子

茨木 春重

茨木 春寛

石川 利光

Cinema

市民映画劇場12月例会
「迷子の警察音楽隊」
12月19日(金)20日(土)
神戸市産業振興センター

2007年度カンヌ国際映画祭では、国際批評家連盟賞、ジュネス賞、そしてこの作品のために設けられた"一目惚れ"賞を受賞した作品。イスラエルの34歳の新鋭監督、エラン・コリリンが、平和へのメッセージをあたたかく、すてきな形で投げかける。

文化交流のためイスラエルに招かれてやってきたエジプトのアレキサンドリア警察音楽隊。なぜか空港に出迎えはなく、自力で目的地に向かおうとするが、辺境の町に迷い込んでしまい…。

11:00／13:30／16:00／19:00(20日は最終上映が18:30～)
一般1,500円(前売1,300円)　学生・シニア・障がい者1,100円
神戸市産業振興センター(JR「神戸」駅徒歩約7分)
■問／神戸映画サークル協議会
☎078-371-8550

Cinema

第12回ハーバーシネマ
「山猫」
11月28日(金)
神戸新聞松方ホール

松方ホールで行われているハーバーシネマ、今月は1963年の名画「山猫」を上映。ミラノの名門貴族の血を引くルキノ・ヴィスコンティ監督が、実在の貴族ランペドゥーサの小説を基に、貴族の斜陽を重厚に描いた壮麗な一大叙事詩。

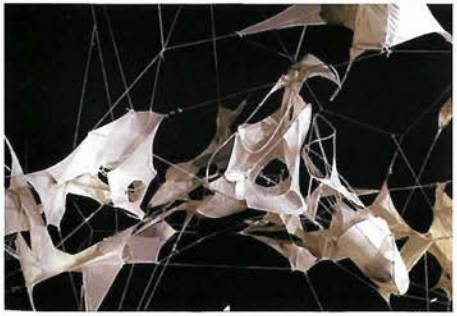
出演は、バート・ランカスター、アラン・ドロン、クラウディア・カルディナーレほか。イタリア語・完全復刻版。

10:30／14:30(完全入替制・それぞれ途中休憩あり)
一般1,500円　シニア・障害者1,200円
神戸新聞松方ホール
(JR「神戸」駅、地下鉄海岸線「ハーバーランド」駅徒歩約5分)
■問／NPO神戸100年映画祭事務局
☎078-954-8044

Art

日本ブラジル交流年
ブラジル×日本　旅が結ぶアート
兵庫県立美術館+オスカー・ニーマイヤー美術館交流展

11月1日(土)～12月7日(日)
兵庫県立美術館


ジョゼ・アントニオ「Tramas」(部分)2007 布、針金ほか

日本人のブラジルへの移住が始まって100年という「日本ブラジル交流年」を記念した本展。

兵庫県立美術館と交流の深い、パラナ州にあるオスカー・ニーマイヤー美術館推薦の現代美術家3人をご紹介。都市をモチーフとして描くマゼ・メンデス、ブラジルのプリミティブなかたちを表現するジョゼ・アントニオ、自然の風景を描くフランシスコ・ファリア。また、今年6月に同美術館で開催された「兵庫のコレクション」展に出品された、本多錦吉郎、吉原治良らの作品を展示する。

音楽や映画、講演会などのイベントも盛りだくさん。視覚、聴覚や味覚にも刺激的な、遠い国ブラジルを身近に感じられる展覧会。

10:00～18:00(金・土曜は20:00)※入館は30分前　月曜休館(11／4、24は開館、翌日休館)
一般1,000円　大高生700円　中小生400円
■問／兵庫県立美術館(阪神「岩屋」駅徒歩約8分)　☎078-262-0901

Gallery

佐藤廉さんを偲んで

11月8日(土)～16日(日)
ギャラリーオスカー

元町画廊の佐藤廉さんが亡くなられて早や1年。

生前、ご自身の作品展を企画していたギャラリーオスカーで、佐藤さんによる書と作陶の作品展を開催する。同時に、佐藤さんと交流があった、石永皓一郎、伊藤弘之、金明姫、初田寿、堀尾貞治さんら作家の方々の賛助作品を展示。

11:00～18:00(最終日16:00)　入場無料
ギャラリーオスカー
(地下鉄大倉山・県庁前駅より徒歩約10分関帝廟の南)
■問／ギャラリーオスカー　☎078-361-3567

Fashion

NPO法人 パーソナルカラーアナリストジャパン協会主催「ELEGANCE NIGHT」

12月6日(土)
神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ

政野晃女(PCAJ理事長)

あなたをもっと輝かせる色、自分を豊かにする色「パーソナルカラー」の提案をする、カラーリストたちの団体「NPO法人パーソナルカラーアナリストジャパン協会(PCAJ)」主催のパーティ。有馬温泉・兵衛向陽閣の女将・風見笙子さんによる講演のほか、ジャズコンサートとお食事を楽しむ夕べ。

17:00開宴　15,000円(当日券はございません)
神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ
(六甲ライナーアイランドセンター駅すぐ)
■問／(株)インフィニティー　☎078-431-1680

Exhibition

孫文 2008

11月1日(土)～30日(日)
孫文記念館ほか

1924(大正13)年11月に神戸で「大アジア主義」の講演を行なった、11月生まれの孫文(1866-1925)にちなみ、11月を「神戸と孫文」の季節として、記念行事を各地で行う。

■特別展示　孫文直筆の書「天下為公」と記念碑
11月1日(土)～30日(日)　10:00～17:00
孫文記念館(JR舞子駅南)
■音楽・講演の会
(講演「孫文へのまなざし－魯迅そして竹内好」飯倉照平)
11月15日(土) 14:00～17:00 入場無料※事前申し込みのこと
中華会館(JR・阪神元町駅東口より約8分)
■国際学術シンポジウム　「孫文・地域社会・知識システム」
11月22日(土) 13:00～18:00 入場無料※事前申し込みのこと
神戸大学瀧川学術記念交流会館(阪急六甲駅より約15～20分)
■問／孫文記念館(移情閣☎078-783-7172)

ライブハウススケジュール **Live House Schedule**
10月のおすすめライブ

ジャズライブ&レストラン　SONE

11／14(金) 小倉よしえ(第9回神戸ジャズボーカルクイーンコンテスト準クィーン)
新井雅代(Vo)高岡正人(P)村松泰治(B)石川潤二(D)
11／16(日) 北荘桂子+御薬袋一男トリオ
北荘桂子(Vo)フィリップ・ストレンジ(P)上山崎初美(B)御薬袋一男(D)
11／19(水) キャンディー浅田(Vo)祖田修(P)中島教秀(B)石川潤二(D)
11／23(日) 北村英治クヮルテット
北村英治(CL)西本貴至(P)須崎健二(B)石川潤二(D)
11／27(木) 長谷川元伸クヮルテット+大越理加(Vo)
長谷川元伸(As)高橋俊男(P)神田芳郎(B)東敏之(D)
※ソネ40周年特別ライブの模様がサンテレビで放映されます。
放送日:11月30日(日曜日)19:00～19:55「神戸JAZZ物語～SONE40年のスウィング」

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE 北野坂
078-221-2055　http://kobe-sone.com
★ステージ18:50～23:00　計4回　★ミュージックチャージ 900円

記載された以外にも、毎晩ライブあり。ホームページでスケジュールをチェックしてください。

クラシックライブハウス　ピアジュリアン

11／2(日)　梅本貴子(クラリネット)藤井快哉(p)
11／9(日)　弦楽四重奏のタベ
西川茉利奈(vn)村津瑠紀(vn)村田恵子(va)伊藤文嗣(vc)
11／12(水) Ma・Donna歌劇団
外山聖子・野村佳代・竹岸睦美・小林朋子・金岡優子
11／15(土) ヤンネ館野(ヴァイオリン)川上布美(p)
11／26(水) 第83回藤渓優子プロデュースシリーズ　音登夢　増井一友
11／28(金) チャイコのトリオ 有馬みどり(pf)佐久間聡一(vn)富岡廉太郎(vc)
11／30(日) 大阪音楽大学大学院「ルイージュ」

■クラシックライブハウス PIA Julien
三宮駅北側近藤ビル9階(1階マクドナルド)
078-391-8081　月曜定休　http://pia-julien.com
★ステージ19:30／21:00(計2回)

記載された以外にも、毎晩ライブあり。ホームページでスケジュールをチェックしてください。

ライブ&レストラン　Holly's

11／10(月) 吉本章紘(SAX)広瀬未来(TP)坂崎拓也(B)竹田達彦(DR)
※東京に拠点を移した吉本章紘とNYで活躍する広瀬未来の、久々の里帰りライブです。
11／16(日)CHAKA(VO)　中村真(P)
※兵庫出身のCHAKA、日本中を行脚するピアニスト・中村真との関西ツアーです。

■Holly's
各線三宮駅より北へ徒歩7分
078-251-5147　http://www.kobe-hollys.com/
★音と光の街神戸北野のLive & Restaurant「Holly's」

その他のライブスケジュールはホームページで!

ギャラリースケジュール **Gallery Schedule**

デュオぎゃらりー11月の催し

●11月6日(木)～11日(火)
フォトアカデミーセイケン五人展
●11月13日(木)～18日(火)
第9回写そう会写真展
●11月20日(木)～25日(火)
第3回写真展デジグラフィーKOBE
●11月27日(木)～2日(火)
第44回神戸外大美術部OB展

デュオぎゃらりーII 11月の催し

●1月6日(木)～11日(火)
アトリエマーケットNPO作家展
●11月13日(木)～18日(火)
写真展示会(主催:写団雅)
●11月20日(木)～25日(火)
色鉛筆画の世界
●11月27日(木)～2日(火)
メルヘン作家と仲間たち

デュオぎゃらりー、デュオぎゃらりーIIはJR神戸駅南側デュオこうべ内

第4回　藤井栄一水彩画展

11月6日(木)～11日(火)
11:00～19:00(最終日17:00)
南京町ギャラリー「蝶屋」
(JR・阪神元町駅南・南京町通)
☎078-332-0628

ドイツ、オーストリア、ハンガリー、チェコの旅先で出会った風景を中心に、約25点を出品。

梅本貴子

Takako Umemoto

クラリネット奏者

この甘い音色を聴いて

「普通の家庭に育って、高校も普通科でしたから、大学に入るまで自分のクラリネットも持っていなかった。でもクラリネットが好きで、だからずっと続けていたんです」という彼女。中学校の吹奏楽部で出会ったクラリネットを高校2年のときから再度学びはじめ、京都市立芸術大学音楽学部卒業、現在は関西フィルハーモニー管弦楽団、クラリネットのトップ奏者。「好きな楽器にめぐり会えて、本当に幸せだと思います」。大学在学中には、指揮者として有名な朝比奈千足にも師事。「いつまでも尊敬する先生です!」。

生の音の「ドキドキする感動」を味わってほしいと、ソロライブも積極的に行なっている。12月には初のソロリサイタルを企画。全5曲のプログラムは、それぞれ思い入れのある曲、クラリネットの魅力を存分に味わえる楽曲を選んだ。中でも、今年生誕100年にあたるフランスの作曲家で、鳥の歌声を忠実に譜面におこした作曲家としても有名なメシアンの楽曲は「静寂の中、深いふちから這い上がってきたとき、ふいにきこえる鳥のさえずり」を聴かせる。ピアノは神戸でおなじみ藤井快哉を迎える。また、同じ関西フィルのチェリスト・大町剛を招き、チェロとクラリネットの共演も。「弦楽器といっしょに演奏すると、クラリネットの響きはとても甘くなるんですよ」と、梅本貴子はあやしく笑った。

■梅本貴子クラリネットリサイタル　12月10日(水)
18:30開場　19:00開演　兵庫県立芸術文化センター小ホール
一般3,000円　学生2,000円　問☎06-6577-1381

松井博士

Hiroshi Matsui

いけばな小原流淡路支部幹部

花からいただくちから 作品に渦巻くエネルギー

10月に行われた「兵庫県いけばな展」では、何千という「ひまわりの種」を寄せ集めて作った作品で注目を集めた。制作時間は約1ヵ月。種子が集積した円柱から、動物的な形をした生命（花／ストレリチアオーガスタ）が誕生するというテーマを込めた作品だった。花の「生命」は、彼が華道へと惹かれた理由のひとつである。

幼少の頃から学び、音大を目指したほどのピアノ、教室をもつほど極めた書道など、多才な彼。書道展の会場に花を入れたいと思ったことが、華道の道に進むきっかけだったという。20歳を越えてから出会った華道の道を選んだ魅力を聞くと、「華道は、創作過程も楽しく、またできあがった作品からはパワーをもらえる。そしてそれをご覧になった方も喜んでいただける、書道ですとなかなかそう簡単にはいきません。それはひとえに花、植物の力とエネルギーだと思うのです」と話す。そして「切った命を美しく生けることで、新しい命が与えられるのだと思う。ですから生徒さんには、使わせていただく命を大切に扱うことを心がけてくださいと話しています」と、優しい口調で語った。

子どもの頃から実際に生け花に親しむことが、伝統文化を引き継いでいくことにつながると、子どもたちの華道教室にも熱心に参加している。

美空ひばり座バスツアー in 京都嵐山

原田の森ギャラリーでシャンソンの花束

★9月21日、三宮より京都嵐山行きの〝愛と夢・美空ひばり座バスツアー〟が発車オーライ！総勢60名が、大豪雨の中、さやかのバスガイドで。しかし11時半に、改装になった美空ひばり座へ到着と同時に、な、なんと日本晴れ。ひばりさんのハートでしょうか。

ひばりさんの大好物のメニューで昼食。そしてゆっくりとひばりさんの生涯を見学。ホールで風さやかによるひばり節を披露。それが全館に流れてしまうというハプニングも！

お次は東映太秦映画村へ。片岡知恵蔵から、錦之助まで、よき時代の映画づくりを体感！

加茂川べりを歩いて、祇園菊水ビアガーデングリルの屋上で、皆さんワイワイ。あっという間の京都旅行でした。

★恒例になった神戸中央市民病院の院内コンサートが、10月2日に開かれ、患者さんや看護婦さん、お医者さまも、華やかなタカラヅカソングを堪能しました。

★10月4日は、原田の森ギャラリーで、神戸芸術文化協会の35周年記念。6人のシャンソン歌手のメンバーとして舞台を。今回は、風さやか・かおる姉妹で登場。堀郁子、頼廣真冴、渡辺二笙、島

宝塚武田尾・希望の家
風さやか 大運動会

加茂さくら・すみれをゲストに
六甲ボウル 大ボーリング大会

院内コンサート

田美恵子さんたちと共演しました。

★そして10月5日には、六甲ボウルで大ボーリング大会。プロボウラーの加茂すみれさんと中平幸男さんをゲストに、約50人が参加。ゲストにはプリマの加茂さくらさん。さらに、里麻莉子、鈴鹿照の元タカラジェンヌも参加して、お茶会、ボーリングを楽しみました。

★今年も宝塚武田尾の「希望の家」の皆さま方と、10月10日、元気いっぱいの楽しい大運動会でした！

★11月2日(日) 火の国くまもとよかばいツアー
11月8日(土) あいハート須磨訪問
11月27日(木) 深緑夏代先生の「シャンソンの調べ」に出演／大阪厚生年金ホール
★12月7日(日) 吾妻ふれまち演芸会
★12月23日(日) 山の手ふれまちクリスマスパーティ

KOBE PR SONG (財)神戸観光コンベンション協会後援

I Love♥ KOBE/あなたと神戸 好評発売中!

◆お求め・お問い合わせは

▲ゆうせん放送に登場中!
UGAカラオケに初登場!

OFFICE Sayaka 078-341-3803

もう一度♥神戸の街で… デュエット曲 さやか&Ken

7月16日新曲CD発売

元タカラジェンヌの皆様を
ゲストに招いてのトーク番組
風さやか 愛と夢♥ 永遠のタカラジェンヌ

毎週日曜 PM10:30～PM11:00 ラジオ関西 558にて好評ON-AIR

★0才から100才までの愛と夢カルチャークラブ開講

神戸市医師会公開講座
くらしと健康 ㉒

発達した交通網とともに、ウィルスは瞬時に世界中へ…「新型インフルエンザ」の脅威！

中神一人先生
神戸市医師会理事
中神クリニック院長

ひとたび爆発的に流行すれば、日本国内の人口の4分の1にあたる3200万人が感染し、最悪の場合64万人が死亡するという被害予測がなされている「新型インフルエンザ」。その実態を知っておきましょう。

―毎年冬になると流行する「インフルエンザ」は風邪とはまったく違う病気なのでしょうか？

中神　そうです。インフルエンザはインフルエンザウィルスによって引き起こされる感染症で、風邪とは全くの別物です。インフルエンザウィルスには、A型、B型、C型の3種類が存在しますが、毎年流行するウィルスの多くはA型とB型であり、また時に新型ウィルスが出現して、爆発的な大流行（パンデミック）を引き起こすのは、A型インフルエンザウィルスです。このA型インフルエンザウィルスは、もともとは鳥インフルエンザだったもので、それが突然変異を続け、ヒトにも感染するようになったものです。今、心配されている鳥インフルエンザが、ヒト同士で感染する新型インフルエンザに変異すること自体は、実は昔から繰り返されてきたことで、遅かれ早かれ、新型インフルエンザが発生することは避けようのないことなのです。

―それが近年、東南アジアで猛威をふるって、心配されている理由なのですね。

中神　そうです。鳥インフルエンザウィルスは、元来、カモなどの野鳥が保有しているウィルスです。野鳥の場合ウィルスに感染しても発症することはほとんどありませんが、このウィルスが変異してニワトリやアヒル、七面鳥などの家禽類に感染すると容易に発症し、ひどい場合は死に至らしめることになります。これを高病原性鳥インフルエンザと呼んでいます。

―なぜヒトに感染するのですか？

中神　本来、鳥インフルエンザウィルスは生きものの間の「種の壁」があるためヒトへは感染しないと考えられていました。しかし世界的にみると現在までに380人以上の感染例とそのうち240人以上の死亡例が報告されています。この理由は明確ではありませんが、大量にそのウィルスが体内に入れば多少の種の壁があってもそれを突破して感染してしまうのだろうと理解されています。

―なぜ鳥インフルエンザを警戒するのか、また新型インフルエンザとの関わりについて教えてください。

中神　鳥インフルエンザは、現在、世界中に広がり続けています。もちろんそれは農場等で飼育している鶏やアヒルなどの家禽（かきん）の間の流行です。しかし着実にヒトにも

感染を広げています。今年に入ってからでも全世界で34人が感染して、実にその大半の26人が死亡しています（WHO6／19）。そのような鳥インフルエンザウィルスの遺伝子に変化が生じて（変異）、ヒトにより感染しやすくなり、さらにヒトからヒトへの感染力の強いウィルスに変異した場合、従来流行してきたヒトのインフルエンザの株と違ってヒトには全く免疫がありませんから、そのウィルスは瞬時に世界中に広がります。それが「新型インフルエンザ」です。

―過去にそのような例はあったのでしょうか？

中神　大正年間に流行したスペイン・インフルエンザ、「スペイン風邪」と言われていましたが、これは半年ほどで世界中に広がり、人口の約3分の1にあたる6億人が感染し、数千万人もの犠牲者を出しました。現在のように、航空機によるネットワーク網が世界中に張り巡らされている状況では、数週間、いや数日間で世界中にウィルスは広がり途方もなく多数の犠牲者が出る可能性があります。

―新型インフルエンザに対する十分な備えが必要ですね。

中神　今世界の専門家達は鳥インフルエンザから、いつ新型インフルエンザが発生しても不思議ではないと警告しており、欧米や日本をはじめ全世界で新型インフルエンザ対策が急がれています。

―具体的にわが国でも対策が講じられているのでしょうか？

中神　はい。国はもとより自治体レベルでも新型インフルエンザ発生時の行動計画が作成されています。国はタミフルのような抗インフルエンザ薬の備蓄（2800万人分）も進めており、また鳥インフルエンザウィルスをもとに製造された「プレパンデミック（大流行前）ワクチン」もすでに2千万人分を備蓄済みで、この8月にも、医師など6400人を対象に事前接種の臨床研究が開始されます。また神戸市においても昨年11月に新型インフルエンザ患者が発生したとの想定で行政、神戸検疫所、医師会が連携して実地訓練を実施したところです。今後さらにきめの細かい具体的な実地計画を進めていくと思います。

―現実に新型インフルエンザが発生した場合、市民の生活はどうなりますか？

中神　国外、国内など、どこでどの程度のものが発生したかにもよりますが、まず大幅に人の移動が制限されることになります。例えば空港や港の使用も限られた地域のみになりますし、市民の外出自粛や地域内外の移動の自粛が求められます。学校は休校となり、集会・興行の自粛、公共施設の閉鎖や公共交通機関の運行自粛などが実施されます。

―医療機関への受診は？

中神　感染の拡大を防ぐため、感染者はもちろんのこと感染の疑いのある方も原則的に一般の医療機関への受診はできなくなります。まずは各地域の保健所に設置される「発熱相談センター」に相談していただき、その指示により「発熱外来」が設置された「感染症指定医療機関」を受診していただくか、あるいはそちらに搬送されることになります。いずれにせよ市民の生活は大幅に制約を受けるようになることを覚悟しなければなりません。

休日の急病は…
神戸市医師会急病診療所（神戸市医師会館1F）
☎078・341・2313
小児科休日急病診療所（西区学園西町4・2）
☎078・795・4915

でん太の教えてドクター

その59 「あごの発達、こころの発達に必要な『欲求不満耐性』」

お話／足立優歯科診療所　足立　優　院長

空腹感があごを育てる

でん太　健康なお口の中を育てるには、小さな頃からきちんと咬む生活をすることが大切なんだけれど、現代の子どもたちは、食生活の変化によって、咬まなくても食べられるから「咬めなくなっている」ことを、前回勉強しました。

Dr.　「咬めない」ということは、食生活の変化と同時に、小さい頃の食べ物の与え方にも問題があるんだよ。今回はそのお話をしましょう。

でん太　食べ物の与え方とはどんなこと？

Dr.　現代では、ファーストフードやコンビニ食が増えているよね。これは、糖質を含んで食べやすい食べ物や飲み物が、いつでもどこでも食べられるということ。

でん太　食べたくなったらすぐ食べられるね。

Dr.　それによって、お腹が空いたなあ！　という「空腹感」を持ちにくくなってしまっているんだ。

でん太　空腹感を持つことが少ないということは、何か問題なの？

Dr.　そうなんだ。空腹感を持つことによって、食欲がわく。すると、出された食事をしっかり咬んで、あごを動かし、きちんと食べることになるよね。逆に、だらだら食べるということは、食事の時間になってもお腹がいっぱいだからきちんと咬んで食べることはなくなってしまう。するといつまでもあごは発達せず、お口の中にいつも何かあるということは、むし歯の原因にもなる。空腹を体験し、しっかり食事をするというリズムとルールを、子どものうちに作ることで、あごが育ち、むし歯が減ることにつながるんだよ。

でん太　なるほど。すごくお腹が空いたときにきちんと食事をとることは、お口の健康にも良いことなんだね。

こころの成長に必要な「がまんすること」

Dr.　お腹を空かせて、食べ物を口にするということは、そういったお口の機能だけでなく、実は、お子さんの心の成長にも大切な行為なんだよ。

でん太　ええ？

Dr.　すぐにキレたり、怒ったり、現代の子どもたちは一般的に「耐性」つまり「こらえ性」がないと言われている。それはなぜかというと、小さな頃の食事のしかたにも問題があるからなんだ。というのは、小さな子どもが「食べたい」「飲みたい」という欲求不満を訴えたときに、まわりの大人が、かわいそうとか、うるさいといった理由で、すぐに食べ物や飲み物を与えてしまうと、欲しいものがすぐ手に入るということが当たり前に思うようになってしまうんだ。結果、泣きわめけば手に入るということが子どもの常識となってしまう。すると、大人になっても、自分の思い通りにならないとがまんができなくなってしまう。

でん太　がまんができない性格の人は、周りの人も自分もつらいものね。

Dr.　だから、「食べたい」といった子どもの欲求に対して、まわりの大人が忍耐力を持つことが重要になってくる。いろいろな方法で遊んであげたり、おやつや食事の時間まで待つことができるように対応すること、待つことができたら、例えそれまで大声で泣いてダダをこねていても、「待つことができたね、えらいね」とほめてあげることが大切なんだよ。

でん太　なるほど、泣いている子にがまんさせることは、ご両親だけでなく、おじいちゃんやおばあちゃんにも気をつけてほしいね（笑）。

Dr.　そうだね！「食べたい」「飲みたい」を、子どもの頃にくり返しがまんすることによって、欲求が阻止されても、すぐに怒ったり、欲求不満行動にうつることも少なくなっていく、これが「欲求不満耐性」が育ったということなんだ。「欲求不満耐性」は、望みはすべてかなうということが不可能である、社会に対して、適応するために大変必要なことなんだよ。

でん太　そして「欲求不満耐性」は、健康なお口やあごの発達にもつながるんだね。

あげたくても食事までがまん!

■**足立　優**（あだち　まさる）

1960年生まれ。大阪歯科大学卒。1988年米国留学後、神戸市東灘区に足立優歯科診療所開設。行動医学の概念を基盤とした自己決定に基づく予防管理中心型の歯科医療を展開する。また、この概念にもとづく医療システムの普及のために「NPO法人・明日の歯科医療を創る会POS」を設立し、社会に対して歯科医療情報の公開と、よりよい歯科医療を求める患者の支援を行なっている。

●明日の歯科医療を創る会
ホームページ
http://www.asunoshika.com
☎078-435-4618

足立　優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33
TEL 078・411・0024　FAX 078・411・0056
mail.adachi@kba.att.ne.jp
http://ado.pr-business.net

※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。

造型のマジック

中右瑛

絵暦

宝船に隠された数字はカレンダー

七福神が乗り合わせた宝船（カット参照）。しかし、この七福神の頭部に数字が施されている。

宝船の大きな帆の頂点に「大」の文字が？

中央の毘沙門天（兜をかぶっている）の兜には「十二」の数字が。

右隣りの福禄寿の大きな頭には「八」。

すぐ隣りの太っちょの布袋さまには「十」。

船の前面で、釣り竿を持つ恵比寿さまの帽子は「二」。

毘沙門天の左に弁才天（弁天さま）は「六」。

その下、寿老人の頭巾には「七」。

船の最前列の大黒さまの帽子は「四」。

全部で、「大」という文字と数字の「二」「四」「六」「七」「八」「十」「十二」が書かれている。

はてこの数字は何を表しているのか？

この絵は「絵暦」といわれて今で言うカレンダーの役目がある。

当時の暦は今の太陽暦とはちがって、旧暦には30日の大の月と29の小の月があり、大と小とが年ごとに組み合わせが変化する。三年に一度、閏年（短い）があり、13ヵ月の年もあった。

この「絵暦」は、安政元年（一八五四）のもので、その年の大の月は二月、四月、六月、七月、十月、十二月、あとは小の月であった。

しかしこれは単なるカレンダーではない。絵の中の数字を解読するという手の込んだクイズもどきのもので、金持ちや好事家の遊びとして、前年の暮れ、または正月に配られた。

絵にはなにやら歌が添えられている。

よろこ**びハ**（琵琶・弁才天）
いっ**しか**（鹿・寿老人）
ほこる（戈・毘沙門天）
う**まきもの**（巻物・福禄寿）
うちでる**つち**の（槌・大黒天）
うちハ（団扇・布袋）
め**でたい**（鯛・恵比寿）

七福神ゆかりの小道具を組み入れて構成されている。「万亭應賀誌」と署名されているが、狂歌師か？　どうかは不明である。

■中右瑛（なかう・えい）
抽象画家。
浮世絵・夢二エッセイスト。
1934年生まれ、神戸市在住。
行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞、半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。
著書多数。

安政元年（1854）の絵暦4点

海船港

潮待ち、風待ちの港
海から訪ねた鞆の浦

文・写真　上川庄二郎

鞆の浦を海から訪ねると、まず目に入るのが鞆のシンボルになっている常夜燈。
ここが潮待ち風待ちの港・鞆の浦の表玄関だった。

【鞆の浦を海から訪ねる】

この夏、神戸経済同友会が実施した「せとうち・感動体験クルーズ」では、瀬戸内海を代表する自然景、人文景に触れることの出来る芸予諸島がまず選ばれた。ここら辺りを少し細かく見てみよう。

神戸港を出航した《ぱしふぃっくびいなす》は、ゆっくりと瀬戸内海の沿岸を航行し、私たちに飽きることのないシークエンス景を堪能させながら、翌朝、芸予諸島の一角である生口島の瀬戸田沖合いに錨泊した。この辺りには、古来から海上交通の要衝として潮待ち風待ちの港として栄えた港町が数多く点在する。

さて、下船して何処を訪ねるか。ここ芸予諸島の島々では、御手洗や鞆の浦を訪ねるも良し、壮大な眺めの来島海峡を訪ねるも良し。はたまた村上水軍の歴史とロマンを訪ねるも良し、平山郁夫画伯の生まれ故郷である瀬戸田には、立派な平山郁夫美術館もある。大三島には国宝所蔵日本一を誇る大山祇神社もある。皆さん自分なりに判断して行き先を決めたようだが、それぞれに捨てがたい魅力があって、なかなか難しい選択だった。

私は、中でも、陸路からも訪ねることのできる鞆の浦を敢えて海から訪ねるコースを選択した。やはり、瀬戸内海の港町は、海から訪ねてこその真価が分かると考えたからである。

【さすが、潮待ち風待ちの港・鞆の浦】

鞆の浦は、万葉集にも詠まれ、昨年（二〇〇七年）は朝鮮通信使四百年を記念して様々な行事が行われたという。また、江戸時代には、北前船の往来港として栄え、その風格を今に残す商家をはじめ、遊郭の名

朝鮮通信使をもてなすために建てられた迎賓館・對潮楼

の浦が、日本初の海事裁判が行なわれた場所となったことである。ここは、写真でこれらの一端を紹介することにしよう。

討幕派の三条実美らが、投宿した宿・太田家住宅
（国の重文に指定されている造酒屋）

【海の幸が一杯の鞆の浦】

私たちは、鞆といえば、古来の潮待ち風待ちの港としてよりも、鯛の港町・鞆の印象の方が強い。毎年五月には、揃いの藍法被を着た漁師たちが、威勢の良い掛け声を上げながら網を引く「鞆の浦観光鯛網」。三七〇年の伝統を持つこの行事は、まさに瀬戸内に初夏を呼ぶ行事として定着している。

「鯛の浜焼き」で、新幹線の福山駅の売店が賑わうのもこの時期である。他にも、サヨリ、タチウオをはじめ瀬戸内のほとんどの魚が水揚げされるところから、鯛竹輪や練り天も土産品として珍重されている。

今も続く鞆の保命酒醸造元の看板

鞆の浦観光鯛網は、
まさに初夏の一服の風物詩

■かみかわ　しょうじろう
1935年生まれ。神戸大学卒。神戸市に入り、消防局長を最後に定年退職。その後、関西学院大学、大阪産業大学非常勤講師を経て、現在、フリーライター。

【欠かせない瀬戸内の里海づくり】

しかし、その鞆の浦も開発か保全かで町が二分している。

一方では、瀬戸内で働く漁師たちの高齢化が進む中、如何にして失われた瀬戸内の自然環境を取り戻し再生してゆくか、里海を護り育ててゆくか問われている。

ここは、サスティナブル（持続可能）なクルーズによってこれら地域の里海を如何に支えてゆけるかが、これからの瀬戸内観光にかけられた大きな課題でもあるのではないだろうか。

いろは丸展示館には、いろは丸の衝突・沈没の詳細が展示されている。